

あらくさ

編集責任者：歌房哲也

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷11584
生活介護事業所 あらくさ
 TEL 0847-67-3410 FAX 0847-67-3439
 E-mail arakusa@f2.dion.ne.jp
 〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷1215-1
就労継続支援B型事業所 夢工房ねむの木
 TEL 0847-67-5051 FAX 0847-67-2080
 E-mail arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp
地域活動支援センター ふらっと
 TEL 0847-67-5052 FAX 0847-67-2080
 E-mail arakusa-flat@r7.dion.ne.jp
あらくさホームページ <http://www.pionet.ne.jp/~arakusa>



明けましておめでとうございます。

皆様方の変わらぬご理解やご支援のもとに、新しい年を迎えることができました。

去る十月二十一日には、「あらくさ共同作業所誕生三十年・社会福祉法人あらくさ設立二十周年記念コンサート」を開催し、元気の良い利用者の方々の歌声や姿をご覧いただき、あらくさの来し方を振り返り、また、あらくさの未来を励まし力づけていただきました。ご協力いただきました皆様、また、長年見守り続けてくださいました地域の皆様に、心より御礼を申し上げます。

さて、障害のある方々を取り巻く状況はこのところ穏やかではありません。一昨年の夏には、日本中を震撼させた神奈川県の入所施設での重度障害者大暴発事件が起きました。また、昨年九月には栃木県の入所施設で、職員による虐待で利用者が重傷を負い、数名の職員が逮捕されました。そして、十一月には、福山市にある障害者就労継続支援A型事業所の経営が行き詰まり、百人以上の障害がある人を一斉に解雇、放置するという事件がおきました。

このような障害者施設での虐待事件、無責任な事件は全国的に数多く起こっています。しかも、利用者を支援し、人権を守るはずの職員が起しているのです。これらの事件は、障害のある人たちを「劣っている」「何をしてもかまわない」「自分たちとは違う」「いなくてもいい」といった考えが根底にあるからこそだと考えます。個人の考え方と共に、ゆとりのない事業所運営や急激に進んだ規制緩和と営利化のなせる業ともいえるでしょう。

日本は、莫大な軍事関連費を予算化する一方、社会保障費は削減され、先進国でありながら、貧困と格差が大きく広がっています。とりわけ、高齢者は福祉サービスを受けにくくなり、食べるものもない子どもたちが都会では増加しています。福祉事業への運営費も下がる一方で「万が一の安心」はありません。平和で誰もが平等に手厚い支援が差し伸べられる世の中こそが、差別や「違う人」をおとしめない社会になるのだと思います。

我々も他人ごとではなく、自らを戒めつつ、利用者の方々の笑顔や人間としての権利を守る立場を堅持してまいります。地域の皆様にも、どうか、本年も健康で災害のない安らかな一年でありますようお願いいたします。

社会福祉法人あらくさ 理事長 寺田朱美





きらい「新成人おめでとう〜」



倉石 博希さん (ウイング班)

色々な仕事に挑戦して、出来る仕事をもっと増やしたいです。



藤岡 開さん (りんどう班)

2月で20歳になります。これからも「ありがとう」の気持ちを忘れずに、毎日自分らしく頑張っていきたいです。



田坂 春奈さん(りんどう班)

色々な経験を増やして、毎日みんなと楽しく過ごしたいです。



職場体験おつかれさまでした

11月28日と12月5日、13日の3日、小童小学校の5・6年生が職場体験に来られ、「あらくさ」についての話と施設見学をした後、利用者と一緒に作業や活動をされました。毎年、春と秋に農業体験(田植え、稲刈り)をしていることもあり、みんな緊張しながらも、すぐに打ち解け、楽しそうに取り組まれている姿が見られました。

最終日には、農業体験で作ったお米をねむの木ランチで使用し、それを皆で味わい、ご来店のお客様にも食べて頂くことができました。

これからも、職場体験の受け入れを通して、子どもたちに「あらくさ」を身近な存在として感じてもらい、障害に対する理解を少しでも深めてもらうことができればと思います。



一緒にひも巻き作業を行いました。

(担当：川辺)



一泊旅行に行きました♪

11月6日(月)・7日(火)に第3グループのあらくさ一泊旅行がありました。いままでは「遠出」と「近場」の2グループに分かれて行なっていましたが、「少人数でゆっくりと、行きたい所に行きたい」という利用者の方の声を受け、初めて企画しました。

今回は参加者の希望で広島(市内)方面へ。おりづるタワー・宮島(厳島神社・水族館・散策)・もみじ作業所のカフェ、そして江田島に渡ってみかん狩りと、盛りだくさんな行程でした。宮島の対岸のお宿では、ごちそうに舌鼓を打ちながら女同士話に花を咲かせたり、ゆめタウンで欲しい服を探したり…と“ゆったり気ままな小旅行”で、楽しい2日間でした。

(担当：森年)



「就労継続支援A型事業所」の大量解雇問題について考える



仕事を通じ、障害がある人の技能や知識が高まるよう手助けをする「就労継続支援A型事業所（以下：A型事業所）」が、経営難から廃業する事例が全国で相次いでいます。

昨年、倉敷、高松両市で同一グループの運営する7事業所が閉鎖され、280名の利用者が解雇されました。また、福山市でも、一般社団法人が経営する2事業所が閉鎖され、112名の利用者が一斉解雇されました。突然の解雇に、多くの障害がある人たちが就労の機会を奪われ、生活が脅かされています。

全国で相次ぐ大量解雇問題について、就労支援事業所を利用する多くの障害がある人たちや、その家族にも「私が通所している事業所は大丈夫だろうか?」「事業所に対し、不信感が募る。」など、大きな波紋が広がっています。

「就労継続支援A型事業」とは?

障害者総合支援法に基づく就労支援事業。一般企業で働くことが難しい障害がある人に、働きながら就労に必要な知識の習得や技術訓練をするサービスを提供する。事業所は利用者と雇用契約を結び、最低賃金以上の給料を保障する。また、事業所は、国から利用者1人あたり、1日5千円余りの障害福祉サービス給付金に加え、利用者の障害程度によっては、最長3年で1人あたり、最大240万円の助成金が受けられる。

A型事業所は、2006年施行の障害者自立支援法（現障害者総合支援法）において、株式会社の参入に門戸が開かれ、事業所の数が急増しました。障害がある人たちに、働きがいや高賃金を必死に保障している事業所がある一方で、補助金目当てとしか見えない一部の事業所の存在も問題視されてきました。先に紹介した事業所においても、行政から「経営改善計画書」の提出を求められていたにも関わらず、未提出のまま、利用者への情報公開もされないまま、経営破綻、大量解雇へと繋がってしまいました。

A型事業所を含む就労支援事業は、障害がある人の働く場であると同時に、「非営利性」と「公益性」を原則とする社会福祉事業であることを踏まえなければなりません。大量解雇という結果に至った事業所の責任は、当然ながら大きいものがあります。しかし同時に、事業の認可・監督・指導を行う行政においても、果たすべき役割を改めて考える必要がある問題なのではないでしょうか。障害がある人たちが、希望を持って働き続けることのできる制度・事業へと改善されるよう、今後も注目すべき問題と考えます。

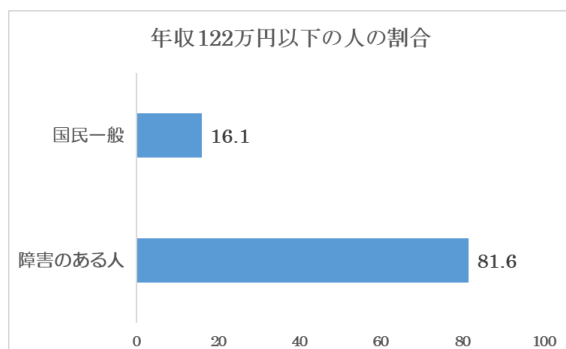
(担当：檀浦)

障害のある人びとを支える制度づくりのための署名・募金にご協力ください!!

今年度も、あらくさが加盟する「きょうされん」の第41次国会請願署名・募金活動に取り組みます。この署名では、障害者福祉制度の充実を目指しており、全国から集めた署名は、国会に届け議論してもらえるよう求めます。また、募金については、きょうされんの署名活動等の為の資金として活用させていただきます。

☆請願項目内容の一部☆

○障害のある人の所得保障をし、生活を支援する制度を確立してください!



日本において年収122万円以下では貧困状況にあるとみなされます。

障害のある人は、年齢を重ねても多くの方が家族と同居しています。収入の面、生活の面（食事・入浴・排泄等の介助）、についても家族に頼らなければ地域で暮らすことが難しい現状があります。例えば、障害基礎年金や就労支援事業所の工賃だけでは、命をつなぐための生活費や通院等の費用を支払うだけでも厳しい現状があります。

グループホームやヘルパー等の地域で暮らすための社会資源もまだまだ不足しており、障害がある人が、一人の大人として、「家族と離れて暮らしてみたい」と思ってもなかなか実現できない現状があります。また、親亡き後の生活の問題も多くの方が抱えています。

きょうされん・障害のある人の地域生活実態調査 2016年

署名・募金運動にご協力くださる方、ご不明な点等ございましたら、あらくさまでお問合せください。

(担当：原)

いただきました (H29年11月1日~H29年12月28日まで)

金一封ご寄付 (順不同)

自然を見守る会様 平岡綾子様 三次シャンソン教室様 山本勇様 渡部剛介様 伊達義悟様 高杉美津江様
匿名様

野菜・食品・物品等のご寄付 (順不同)

徳山正恒様 風呂節子様 道々清子様 原田二乃様 都志見博様 竹田夏子様 島原敏夫様 畠田正男様 長谷川正伸様
佐々木由美様 株式会社中電工三次営業所様 高橋信子様 セラ資源様 西教寺様 平内佳子様 棚多武司様
株式会社重道保険事務所様 豊島元文様 匿名様

ボランティア (順不同) あらくさ家族会様 末藤朱美様



いただいた食材は給食等に使用させていただきました。その他にも、アルミ缶・紙等の資源回収にご協力いただきました。ありがとうございました。記載もれがありましたら、どうかお許しください。

秋を彩るシャンソンライブ~



去る11月29日(金)、夢工房ねむの木のランチタイムに合わせて、「昼下がりのシャンソンライブ」を開催しました。広島を拠点に活動をされているプロ歌手、日高摩梨さんと三次シャンソン教室の生徒さんによる情熱的な歌声を聴かせていただきました。ランチタイムには、35名のお客様にご来場いただき、満員御礼となりました。ライブでは、「愛の賛歌」、「バラ色の人生」などの“愛”をテーマにした名曲を美しい歌声とメロディで観客に語りかけるように披露していただきました。



ランチタイムの終了後に、あらくさ利用者・職員と外部のお客様にもシャンソンを披露していただきました。歌声に合わせて手拍子や体を揺らし、みんなライブに引き込まれていました。曲の最終には、記念行事でも披露したあらくさのオリジナルソング「この先何十年」を会場中で熱唱しました。素敵なひとときをありがとうございました。



(担当: 岡田)

生協ひろしま様より助成金をいただきました!

生協共同組合ひろしま様より、「障がい者団体活動支援金」をいただき、11月15日(水)に贈呈式が行われました。助成金で、コーヒーメーカーを購入させていただきました。外部販売(水toショップ等)の際お客様にコーヒーを提供する等、今後幅広く活用させていただきます。ありがとうございました。

(担当: 原)

